

鳥取県日野総合事務所県土整備局



鳥取県日野総合事務所県土整備局 局長
播磨 振作

この想いを語る会は、行政組織で構成されてる会ですので一般的な話というのは非常にうまく話ができるわけですが、日野川流域でのいろいろな組織や活動を束ねているものがなく、横の連絡がとれてないといえますが、皆さん面映ゆい思いでおられたと思います。

この会を少し広げて、その中に民間も参加して束ねられながら活動して、その中心に憲章があるという形がいいのではないかと思います。新しい取り組みや活動が今も既にいろいろなところで行われています。その中には、「よし、やろう」という人もおられると思いますので、そういう方をどんどん引き入れながら進めていったらいかがでしょうか。

日野町



日野町 町長
景山 享弘

憲章をつくってどれだけの効果があり、先行きどう日野川が生まれ変わるかは見えてこないわけですが、憲章をつくった後それを本当に実行、実践していくのは地域住民の方々です。では、我々の行政、いわゆるまちを預かるものとしては、日野川を汚しちゃいかん、本当にきれいにして下流の人にきれいな水を送り出したいという一念ですが、実際、現実としては川にはゴミが捨てられ、山も田畑もどんどんこれから荒れていく。そういう中で、この憲章がどういうふうに関わるのかということ、住んでいる人たちの意見も聞いて実効性のある憲章にすれば、すばらしいものができるのではないかと思います。

江府町



江府町 副町長
伊藤 友昭

憲章では規制を設けちゃいかんと思うのです。そこが非常にポイントだろうと思います。それぞれの地域で活動しておられるの方々には、それぞれの理念があり、それを一つにまとめるというのは非常に難しい行為だと思います。ただ、そこにオブラートに包んだぼんやりとした理念の憲章になるべきであって、カチッとしたものは多分できないだろうと思います。ネットワークづくりの中でも、やはり行政主導では非常に難しいだろうと。ただ、「みんなの思いを一度、語りませんか？」と、まさに想いを語る会を拡大してやってみるのが一番早いのかなと思います。

南部町



南部町 町長
坂本 昭文

今回の議論から一つ貫かれた憲章というものが何となく姿が見えてきたような気がいたしております。洪水が起きたり、人命まで奪ってしまう恐ろしさというような畏敬の念も持つといった観点を取り入れたり、川から遠ざかっておる暮らし、暮らしの中にもっと川とか水とかそういう親しみやすいような仕掛けというようなことも必要ではないかなというように聞かせていただきました。

日野川への想いを語る会で今後、憲章の制定に向けて取り組んでいくという一つの確認をいただいたと思います。これを行政主導では広がりが少ないと思いますから、できるだけ多くの方々に参加し、考えてもらえる機会をつくり、さらに発起人会をつくり住民の方々にも参加をしていただいて、いろんな意見を言っていただこうということでもあります。これはアンケートをとったりホームページを使ったり、いろいろな手段が考えられるのではないのでしょうか。憲章が関連する活動の起爆剤となるような取り組みを行っていかねばいけませんね。理念ばかりではどうしようもありません。具体的な活動の支援をし、一歩進めば憲章の実行委員会といったようなことにまでなるようサポートしていく必要があるのではないかと思います。

別紙にて、「日野川流域憲章」(仮称)制定に向けた意見募集を行っています。